

# 平成29年度 シラバス ( 総合実習 )

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科(科目)	水産(総合実習)	単位数	2単位	学年(コース)	2学年(資源育成コース)
使用教科書	なし				
副教材等	なし				

## 1. 学習目標

水産増養殖に関する基本的な知識と技術を習得させ、魚介類の種苗生産および放流ができる能力と態度を育成する。

## 2. 指導の重点

資源増殖に対する理解を深め、地域漁業に貢献できるように

- ① 種苗生産・放流を通して、生命の尊さを学ぶことを目指します。
- ② 地域漁業に貢献するための種苗生産方法や養殖技術を身に付けることを目指します。

## 3. 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	海産魚類の種苗生産 1学期期末考査	○ヒラメ・オニオコゼの種苗生産、チョウザメ・イトウ銀ザケの養殖(1年間)	○飼育管理を通して、安全な種苗生産・養殖について理解する。	24	授業の取組・態度 定期考査 レポート 課題
9 10 11 12	魚類等の養殖 2学期期末考査	○ヒラメ・オニオコゼ、チョウザメ・イトウ・銀ザケの養殖管理、マコンブ養殖	○海産・淡水魚等の養殖法を理解する。	26	
1 2	海産魚類の養殖 学年末考査	○飼育生物の養殖管理、鮮度保持、出荷、流通	○海産・淡水魚等の養殖法、出荷技術等を理解する。	16	

計 64 時間 (55分授業)

## 4. 課題・提出物等

各学期の期末考査終了後に実習・実験レポートを提出させる。

## 5. 評価の規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
魚類の増養殖について理解し、関心を持ち、積極的に授業に取組もうとしている。	魚類の増養殖に関する実習を通して、科学的にもものを見る能力が身に付いている。	魚類の増養殖技術に関する基本的な技能が身に付いている。	魚類の増養殖に関する基本的な事項を理解している。
以上の観点を踏まえ、 <input type="checkbox"/> 実習への取組状況 <input type="checkbox"/> 課題・レポートの提出 <input type="checkbox"/> 定期考査 などから、総合的に判断します。			

## 6. 担当者からの一言

実験・実習を通じて、魚類の増養殖について実践的な学習をします。生物を育てることの重要性を学ぶことができます。  
(担当：貝田雅志、増田真之介、渡邊憲一、伊藤東)